

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Dec.2013

12

No.638

万感の
思いを込めて

長瀬小マーチングバンド 移杖式

特集

おもてなしの輪



1_ 3区金丸哲選手 2_ 一斉スタートとなった15区、鈴木真奈選手（猪苗代中1年） 3_ 6区半澤拓見選手 4_ 閉会式終了後、みんなで記念撮影 5_ 2区住吉秀昭選手（田村高2年） 6_ 7区吉田勇大選手（東中2年） 7_ 9区小川あかり選手（猪苗代中3年） 8_ アンカーを務めた松崎政継選手 9_ 11区金子瞳選手 10_ 12区影山裕選手 11_ 8区國分伊三郎選手（猪苗代中3年） 12_ 4区小川広選手（田村高3年）

から5区神汰輝選手（会津高1年）にリレー 13_ 13区五十嵐史朗選手から14区长谷川尚大選手（会津学鳳高2年）にリレー。五十嵐選手の懸命のサポートで間一髪タスキがつながる。長谷川選手が一斉スタート用のタスキを放り投げて走り出す 14_ 1区小林萌々選手（猪苗代中2年） 15_ 10区五十嵐修一選手（学法石川高3年） 16_ 11区金子瞳選手（緑小教諭）の応援に駆け付けた緑小の児童たち

7区 町の部区間賞 吉田勇大選手



とにかくがんばるしかないと思って走った。区間賞を取れるとは思っていなかったの、結果を聞いたときは驚いた。今年の冬は体力づくりに取り組んで、来年の中体連で県大会に行けるように頑張りたい。

2区 町の部区間賞 住吉秀昭選手



最初から区間賞を取るつもりで走った。タスキを渡すまでに町の部1位にすることが自分の役割だと思っていたので、それを果たせてよかった。総合では区間5位だったので、来年はもっと上を目指したい。



選手、コーチ、監督として
25回連続出場
五十嵐幸夫監督

25年間この大会に携わってこられてよかった。走るだけでなく、いろいろな経験をすることができて、自分にとってプラスになった。これからもこの大会を目指して選手が育ってほしい。

全力でつないだタスキ

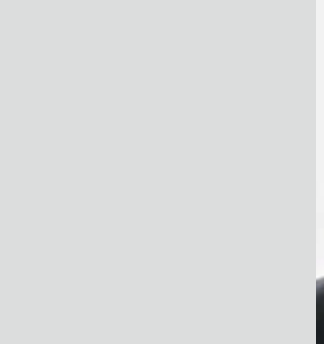
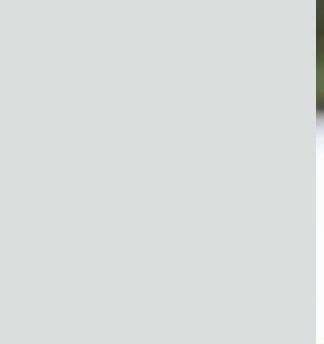
第25回ふくしま駅伝

第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会（ふくしま駅伝）は11月17日、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間、95・1kmのコースで開かれました。

県内53チーム、839人が参加。猪苗代町チームは町の部で4位、総合で13位と今年も健闘しました。

レースでは、2区の住吉秀昭選手、7区の吉田勇大選手が町の部区間賞を獲得したほか、全ての選手が粘り強い走りを見せました。全力を出し切り、タスキをつないだ選手たちの頑張り、町民に元氣と勇気を与えました。

四半世紀の節目を迎え、開会式で第1回大会から連続で出場している選手などを表彰。選手、コーチや監督として25回連続で出場している本町チームの五十嵐幸夫監督が表彰を受けました。



特集

のおもてなしの輪

東京オリンピック開催決定に沸いた今年、「おもてなし」という言葉が注目されています。大勢の観光客が訪れ、多くのイベントが開かれる本町には、おもてなしの心があちこちにあります。今月号では、そのおもてなしの数々を紹介するとともに、これからのおもてなしのあり方を考えます。



Pick Up 今月のイベント

創立 50 周年を 盛大に祝う

猪苗代中学校の創立50周年記念式典は10月25日、同校で行われ、関係者が半世紀の歩みを振り返るとともに、さらなる飛躍を誓いました。

同校は昭和39年に当時の猪苗代中、千里中、翁島中の3校を統合して開校。昨年度までに8855人の生徒が卒業しています。

式典では校歌斉唱の後、生徒がスライドで学校の50年の歴史などを紹介。記念事業実行委員長の矢吹孝志同窓会長が「50年の節目を心一つに喜び合いたい。これから新しい歴史を刻んでほしい」とあいさつし、宇南山忠明校長が式辞を述べました。来賓を代表して前後公町長、土屋重憲教育長らが祝辞を述べました。

歴代校長やPTA会長に対する感謝状贈呈も行われ、実行委員会からは同校に50周年記念事業として新調した校旗が贈られました。

生徒会長の新田峻介さん（3年）が生徒を代表し「50年の歴史を誇りに、伝統をしっかりと受け継ぎ発展させ、後輩たちに伝えていきたい」と感謝の言葉を述べました。

式典終了後、みちのくボンガーズのメンバーによる記念講演も開かれました。

まちの応援マガジン いなわしろ 広報猪苗代

Dec.2013
12
No.638



今月の表紙

長瀬小マーチングバンドの移杖式に臨む、ドラムメジャーの三瓶水葵さん。「自分たちは叶わなかったけど、後輩たちには頑張って全国大会に行ってほしい」という思いと共に、指揮杖を後輩に託しました。（関連16ページ）

【撮影日】 11月22日
【撮影場所】 カメリーナ

Contents — 【目次】

- 02 巻頭紹介 第25回ふくしま駅伝
- 04 PICK UP
- 05 特集 おもてなしの輪
- 14 自治功労者表彰式・合同表彰式感謝状伝達式
- 16 まちのわだい
- 20 笑顔でこんにちは／猪中野球部県大会出場／通学キャンプ
- 22 いなわしろタウンページ
- 26 暮らしの情報広場
- 28 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

■キーマンに聞く 新そば祭りの「人気の秘訣」と「今後の課題」



年々減っている
打ち手の養成が課題

猪苗代手打ちそばの会会長
佐藤善司さん

古くから会津に伝わるそば打ちでは、麺棒を1本しか使いません。猪苗代では今でもそうしていますが、ほかではより効率的な3本の麺棒を使うやり方が主流になってきています。そば祭りでも、猪苗代と同じやり方で実演しているところはほとんどありません。

新そば祭りは、そういった伝統や技術を守り、伝えていくという点でも意義のあるものです。しかし、私たち手打ちそばの会では高齢化が進み、年々会員が減っているのが現状です。そば打ちには技術が必要です。お金を払う価値があるそばの打ち手を養成するのには、時間もかかります。町がソバの振興を進めていくのなら、例えば役場職員の打ち手を増やすというのも一つの方法ではないでしょうか。

あとは、実演する時に隣で説明してくれる人がいたらいいですね。実演を見るのを楽しみに来るお客さんも多いので、喜ばれると思います。

大切なのはお客様の
立場に立つこと

猪苗代町振興公社総務課長
小野秀男さん

猪苗代新そば祭りの誇れるところは、4000食すべての完成度が高いということです。一人のお客様が口にするそばは、私たちにとっては4000食のうちの一食。でも、そのお客様にとってはその一杯がすべてです。ですから、少しも妥協できません。

そういった「お客様一人一人を大切にする」「お客様の立場になって考える」という意識は、そば打ちの人や厨房の中だけでなく、フロアー係、案内係、駐車場係などすべてのスタッフに浸透していると思います。だからたった2日間でも、担当する人が替わっても、同じサービスが提供できるんです。

新そばまつりは、「町のイメージ」という大きなものを背負った、多くの人で支える一つの大きな店です。すべてのスタッフがそれを理解し、真摯に、そして誠実に取り組んでいることが、お客様の満足につながっているのだと思います。



1_「じいちゃんが作ったそばはおいしいよ」と笑顔でそばを食べるのは、そば打ち名人、佐藤善司さんの孫、はるかちゃん(左)とあかりちゃん 2_ 猪苗代そば口上を披露した吉崎ミナ子さん 3_ 今年も長い行列ができました



【厨房テント内の様子】 来てくれたお客さんのため、スタッフたちが休む間もなく働く

▶食器洗い



▶そばゆで



▶天ぷら揚げ



2000人を超えるお客さんが訪れる、県内最大級のそば祭りとなりました。県外からも多くのリピーターが訪れるなど、県内外に「蕎麦の里・猪苗代」を発信しています。

町や町商工会、猪苗代観光協会、町振興公社などで行う実行委員会の主催で、今年の新そば祭りには、それらの団体から延べ約400人もスタッフが動員されました。

そば打ちには、猪苗代手打ちそばの会と町振興公社が担当。4000食を超えるそばを、名人たちが一切妥協することなく、極上のそばに仕上げます。

厨房テントでは、そばゆでや天ぷら揚げ、盛り付け、食器洗いなどの係がそれぞれの持ち場で休む間もなく働いています。

会場内のスタッフは、お客さんに快適に過ごしてもらえようという心掛けて動いています。

設備の充実や運営方法の改善も毎年行ってきました。昨年からゆで釜とフライヤーを増設し、待ち時間の短縮を図りました。また、祝言そばは、スタッフ間の連携によって、よりあつあつで提供できるようになりました。

これらの努力はすべて、お客さんに喜んでほしいから。人気を支えているのは、関わる人すべての「おもてなしの心」です。

心一つに おもてなし

今年も大勢の人でにぎわった新そば祭り
その人気を支えるのは「おもてなし」の心



第17回
猪苗代新そば祭り

今年も盛況だった新そば祭り

今年で17回目を迎えた「猪苗代新そば祭り」は11月9、10の両日、カメリーナで開かれました。県内外から2日間で4000人を超えるお客さんが訪れ、猪苗代の新そばを心ゆくまで味わいました。

振舞われたそばは「祝言そば」と「ざるそば」の2種類。「天ぷらの盛り合わせ」や「そばがゆ」も用意されました。

会場では、▽「猪苗代手打ちそばの会」の名人たちによるそば打ち実演▽物産市でのそば粉や野菜などの販売▽日本舞踊や「猪苗代そば口上」なども行われ、参加者は「蕎麦の里」の秋を五感で楽しみました。

家族で訪れた遠藤寛之さん(福島市)は「来たのは今年で3度目。会津で開かれるそばまつりの中で一番おいしい。日程が合えば毎年でも来たい」と話していました。

新そば祭りの裏側

猪苗代新そば祭りは、町の特産物であるソバの振興を目的に始まったもので、東日本大震災以降は町の食の安全・安心のPRにも大きな役割を果たしています。今では多い時で一日に



インタビュー

猪苗代湖ハーフマラソンのボランティアとして参加

猪苗代高JRC委員会の皆さん



左から渡部舞香さん、桑原杏依さん、佐々木裕香さん、佐野衣緒捺さん（いずれも3年）

学校にボランティアの募集はこなかったのですが、町を盛り上げのお手伝いがしたいと思い、事務局にお願いしました。

当日は主に手荷物の受け渡しの仕事をしました。朝の5時半集合で、暗いし、眠いし、寒いし、仕事はとても忙しかったです。

大変だったけど、県外から来た人も多かったの、いろいろな人と話をすることができて楽しかったです。どのイベントに行ってもそうですが、一番うれしいのは、参加者から感謝されること。「ありがとう」と言われると、自分たちもうれしくなるし、やってよかったとしみじみ思います。



力強い太鼓の音が、ランナーたちを元気づけたよ。ファンファーレもかっこよかったね



猪苗代吹奏楽団が開会式で演奏を披露。ハーフマラソンスタートのファンファーレも演奏した。いなわしろ天鏡太鼓と川桁謡真鼓楽会、猪苗代芸能保存会はスタート・ゴール地点やコースの途中で勇壮な太鼓の演奏を披露し、ランナーたちを鼓舞した



冷たい雨に打たれながらも頑張る姿に、じんときたよ



体育協会加盟団体の皆さんはゴールしたランナーたちに「お疲れさまでした」と笑顔でタオルを配った



沿道からの温かい声援が、ランナーたちの力になるね



スタートの様子。スタート・ゴール地点以外の場所でも多くの町民が選手らに温かい声援を送った

ご当地キャラ
ヒデヨくんが
イベントでの
おもてなしを
レポート



猪苗代湖 ハーフマラソン



町食生活改善推進員会と町商工会女性部が約4000食分の豚汁を振る舞った。地元産の食材も使い、町の食の安全・安心もPRした



そばも大人気だったね。地元の農産物や特産品などを売っているブースもあったよ



「祝言そば」を提供したいわはし館のブースには長い行列ができた。猪苗代の名物に大勢の人が舌鼓を打った

猪苗代タクシー

乗務員 高橋正一さん(左)、浅川勇一さん



私たち運転手は、何と言っても、お客様を安全に目的地までお送りするのが第一です。それから、快適に過ごすに心掛けて運転しています。町外からイベントや観光に来るお客さんは、みんなとても楽しみに猪苗代にいらっしゃいます。ですから、「来てよかった」と思っただけ帰ってほしい。目的地に着くまでの短い時間でも、気分良く過ごせたらうれしいですね。重い荷物は持ってあげる、足が不自由な人は歩くのを支えてあげるなど、一つ一つは小さくても、そういったことが積み重なれば、磐梯山や猪苗代湖などの景色もよりきれいに見えるのではないのでしょうか。いい思い出づくりのお手伝いできたらうれしいですね。

民宿松屋

宇南山隆さん(左)、信子さん



来た常連さん同士で「今年も会ったね」などと話していることもあります。うちは何でもあけっぴろげ。お客さんとも何でも話します。そんな感じなので、お客さんたちはまるで家族のように振る舞っていて、「この人は本当にお客さんなのか」と思うこともあるし、逆に私たちが気を使わずに「俺たちは客だぞ」と言われることもあります。特別なおもてなしということは意識していないし、なんで来てくれるのか私たちにわかりませんが、常連さんたちは毎年、「ただいまー」と言って帰ってくるんです。

イベント以外にもある
観光地ならではの
おもてなし

イベントに来た人たちも、こんなおもてなしに出会えるかもね



いろいろなおもてなし

四季を通じてさまざまなイベントが開かれる本町
イベントはもはや猪苗代のお家芸。おもてなしもハイレベル

週末ともなると、イベントのない日が珍しいほどその数が多い本町。磐梯山や猪苗代湖などの恵まれた自然に加え、野口英世博士の生誕の地であることや土津神社、亀ヶ城公園などの名所・旧跡も多く、豊富で多様な観光資源を持っていることがその理由です。

登山にウォーキング、マラソン、トライアスロン、スキー大会など、自然環境を生かしたスポーツイベントから、野口英世博士や保科正之公を顕彰する文化系のものまで、さまざまなイベントが開催されます。

先ほど紹介した猪苗代新そば祭りのほかに、フリースタイルスキーワールドカップや猪苗代湖ハーフマラソン、風とロック煮会など、数千人を集めるイベントも年に数回開かれ、本町はまさにイベント王国といっても過言ではありません。

そういった地域の特性から、町民がスタッフやボランティアとしてイベントに参加する機会が多く、そこでのおもてなしは参加者から高い評価を受けています。

10、11ページでは、参加者の満足度がとても高い2つのイベントを紹介。その魅力はどういうところにあるのでしょうか。



1 花の脇芽取りの作業を丁寧に教える、メンバーの渡部雅幸さん(左)。参加者たちは、きれいな花が店頭に並ぶまでに多くの手間が掛かっていることを学んだ **2** J A トマト共選場の見学では、作業の内容や出荷の流れだけでなく、渡部さんらがおいしいトマトの見分け方など、消費者にうれしい情報も伝授 **3** ツアー終了時、みんなで記念撮影。参加者たちの表情からも満足度がうかがえる

参加者の声

- ・会津の農業人と触れあえたことが何より良かったです。農家の方の熱い意欲と思いが伝わり、自分までウキウキしました。
- ・いろいろな話ができ、たくさんを知ることができました。農青連の皆さんの明るさを見て、日本の農業の未来は明るいと思いました。
- ・期待以上にいろいろな体験ができた。
- ・農産物が本当に安全だということがわかった。逆に検査をしていない他県が心配になった。今後は自分なりに情報収集をして、正しい情報を知りたい。
- ・親切で温かい対応で、リラックスしながら農業体験できました。

(参加者アンケートから抜粋)



伝わるおもてなし

気持ちのこもったイベントは

思いが伝わる 楽しさが伝わる

10 月12、13の両日、本町で農業体験ツアーが行われ、首都圏から5人が訪れました。

このツアーは、原発事故による風評被害の払しょくを図ろうと、J A あいづ青年連盟猪苗代地区(以下農青連)と農青連キャベツ研究会が実施したものです。

参加者たちは2日間で花やトマトの収穫、稲刈りなどさまざまな農作業を体験したほか、農作物の放射能検査などを見学しました。

初日の案内役を務めた農青連の渡部雅幸さんは、行く先々で参加者たちに丁寧に説明。体験受け入れ先のメンバーも熱心に作業の手ほどきをしました。12日夜に開かれた懇親会では、メンバーらが参加者と意見交換をするなど、親睦を深めました。

参加者アンケートでは、全員が「福島農産物は安全だと感じた」と回答。さらに体験内容も「満足」「期待以上」という結果に。メンバーたちの苦労や熱意も伝わり、大成功に終わりました。

初 秋の磐梯高原の自然の中を、マウンテンバイク(以下MTB)にまたがり、風を切って駆け抜ける。第7回ジンギスカップI N磐梯高原は10月5、6の両日、磐梯南ヶ丘牧場内の特設コースで開かれました。

レースは、補助輪付きの自転車に乗る幼児のスーパーキッズクラスから、競技者向けのエリートクラスまでの男女別全16クラス。約300人の参加者は、磐梯山を望む絶好のロケーションの下、全力でレースに挑みました。

ジンギスカップの名のとおり、ジンギスカンが食べられるのもこの大会の魅力の一つ。ほかにも町の名所、旧跡などを巡る磐梯高原の魅力発信ツーリングや青空ヨガ教室、自転車キッズ検定など、参加者を楽しませる工夫が満載です。

そして、何よりも魅力なのがその一体感。会場にいる人みんなが楽しそうに盛り上がっていて、その雰囲気はまるで一つの家族のようです。



1 スーパーキッズのレースは、まるで幼稚園の運動会のようなごやかな雰囲気。自分のレースでは真剣な表情を見せるお父さんも、すっかりやさしい顔に **2** コースのあちこちで家族やチームメイトが声援を送る **3** 魅力発信ツーリングで十六橋を案内する、いなわしろ伝保人会の田島一博さん(中央)。NHK大河ドラマ「八重の桜」やジオパークに関連付けて、ユーモアを交えながらわかりやすく解説した



参加者の声

佐藤京美さん(栃木県)



ツーリングはガイドさんがジョークを交えながら猪苗代の名所を説明してくれて、とても面白かったです。レースは初参戦ということもあり、期待と緊張でいっぱいでしたが、磐梯山を望む絶好のロケーションの中で、気分も爽やかに楽しく走れました。応援の声も温かく、見る側としてもドキドキ楽しめます。手作り感満載で、みんなが一体となりレースを盛り上げる感じがとても好きです。また来年も参加します!

J A あいづ青年連盟猪苗代地区

渡部雅幸さん(幸野)



「自分だったらこうしてほしい」ということをする

福島農産物が安全・安心だということをしきりと理解してもらうには、実際に来てもらうのが一番。参加者に自分の目で確かめてもらい、それを周りの人たちに伝えてほしい。そう思って私たちはこのツアーを企画しました。

ツアーでは、作物を作るのにどれだけの手間が掛かるのかを理解してもらうため、丁寧に説明し、作業の手ほどきをしようと心掛けました。それが参加者の満足につながったのかもしれませんが。あとは、「自分ならこうしてもらえるとうれしい」という

ことをしてあげる。せっかく来てくれたのだから、「よかった」と言ってほしいですね。花や野菜を作るときの「消費者に喜んでほしい」という気持ちと同じです。

懇親会で参加者という話せたこともよかったです。メンバーたちの苦労や思いも伝わり、「これからは積極的に福島のものを買いたい」と言ってくれた人もいて、やってよかったと思いました。

来年も実施したいと思っていますが、難しいのは資金面。県や町など、行政がバックアップしてくれるとありがたいですね。

スタッフが楽しまないと、参加者だって楽しくない

ジンギスカップのいいところは、みんなが楽しめることです。レースを楽しむ、応援して楽しむ、ジンギスカンを食べる、牧場で動物とふれあうなど、楽しみ方はさまざま。参加者はもちろん一緒に来た家族みんなが楽しめるんです。

多くの人が閉会式まで残っているのも、この大会の特徴です。特産品が当たる抽選会があることも一因ですが、「もう少しここにいたい」と思わせる楽しい雰囲気もあるのだと思います。

人の気持ちは伝わるものです。例えば、

スタッフがつまらないようにやっていたら、参加者だってつまらない気分になる。楽しそうにやっていれば、参加者ももっと楽しい気持ちになるのだと思います。

町内企業の協賛などのおかげで、資金面ではだいぶ助かっていますが、実行委員である友の会会員のほとんどが町外者なので、コースの草刈りや大会の準備などは、人数がそろわず大変です。

でも、自分たちの楽しさや参加者の笑顔があるから「次も頑張ろう」という気持ちになれるんです。

ジンギス友の会代表

森山栄幸さん(祐次)





佐藤智昭さん(曲淵)

曲淵大根クラブ协会会长。同地区の遊休農地の解消と農業の伝承を目的に活動する同会では、数年前から小・中学生などの農業体験を受け入れ、子どもたちに田舎の楽しさや農業の大切さを伝えている

この土地ならではのおもてなし それが最高のおもてなし

おもてなしとは、なかなか難しいものです。過ぎてみればいいし、足りなくてもいけない。一生懸命もてなしたつもりでも、相手にとっては迷惑かもしれない。まずは相手の気持ちを考えることが大切です。

おもてなしの仕方もさまざまですが、一番のおもてなしは、猪苗代ならではの「おもてなし」です。

この土地のものを食べて、この土地の人間と話す。飾る必要はありません。私たちが普段していることを、ごく自然にすることです。ここでしか味わえないことをすることが、何よりのおもてなしです。

豪華な食事はどこへ行っても食べられますが、ここで採れた野菜で、このお母さんたちが作った料理は、この土地でしか食べられません。その料理を囲んで、お客さんと会話を弾ませ

る。それは相手にとってはもちろん、自分たちにとっても貴重なものです。

損得は関係ありません。おもてなしは相手を喜ばせたくてするものです。喜んでもらえれば、自分も満足できます。

おもてなしは、祭りに似ています。地域を気づけるのも、町全体で取り組んだほうがいいという点でも一緒です。祭りは一つの地区だけでやるより、みんなが集まってやったほうが盛り上がります。

楽しいところには、人がどんどん集まってきます。町全体がおもてなしであふれば、この町ももっと活気づくのではないのでしょうか。

人との出会いは人生を豊かにしてくれれます。人と人とを結びつける、「絆」が深まるようなおもてなしをこれからも続けていきたいです。

おもてなしに欠かせないもの それは「笑顔」と「あいさつ」

おもてなしになくてはならないもの、それは「笑顔」と「あいさつ」です。

「おはようございます」「こんにちは」と元気にあいさつをされると、自分も元気が出ます。笑顔で接してもらうと、誰でもうれしいものです。

人の印象というものは、最初でそのほとんどが決まります。例えば私がお客さんに「ガイドの江花です。よろしくお願います」と笑顔で元気にあいさつをしたとします。すると相手は「感じのいい人だ。楽しい旅行になりそうだな」と思うでしょう。その瞬間、相手の心が開き、会話も弾むようになります。旅はとても楽しいものになります。猪苗代に来て本当に良かった」と思ってくれます。

猪苗代は観光と農業の町です。「観光」を大々的に掲げているのですから、町全体におもてな



江花俊和さん(葉山)

猪苗代山岳会会長と猪苗代の偉人を考える会会長を務める。歴史にも自然にも詳しい猪苗代の達人。いなわしろ伝保人会にも所属し、観光客に猪苗代の素晴らしさを伝えている

しが広がればいいと思います。

例えば、ハーフマラソンやトライアスロンでは、今まで以上に大勢の町民が選手に声援を送る。観光客とすれ違ったときには、「こんにちは」と声を掛ける。それが町を挙げてのおもてなしだと思います。

訪れた人の印象に強く残るのは、その土地の「人」とのやりとりです。

走る時に大勢の町民が旗を振って応援してくれたら、「声援が温かくてとてもいい大会だった」と思うでしょう。行く先々で元気なあいさつをされれば、「猪苗代は本当にいい所だった」という印象を持つてくれます。そういつたことがリピーターの獲得にもつながります。

来てくれた人みんなに「笑顔」と「あいさつ」、そして「気遣い」。私はこれからもそうしていきたい。そう思っています。

これからのおもてなし

おもてなしの達人に聞く 町のこれからのおもてなし

ここまで紹介してきたのは、町にあるおもてなしのほんの一部です。おもてなしは、イベントだけでなく、町のいろいろな場所で見つけることができます。また、ここに登場した人たちが外にも、多くの皆さんがおもてなしの心を持っています。

おもてなしは、いろいろなものをつないでくれます。おもてなしを受けた人の喜びが、もてなした人の喜びにつながり、それが人と人とのつながりになります。おもてなしをする人同士、心も一つにしてくれます。それは、人の心と心を結ぶ輪のようなものです。その輪はきつと、周りを巻き込んで大きくなっていきます。

心のこもったおもてなしがあるイベントは、とても楽しく、居心地がいいものです。おもてなしの心を持つ人やおもてなしにあふれる地域は、みんないきいきとしています。魅力的な人や場所には、自然と人が集まってきます。おもてなしの輪は、そうやってどんどん大きくなっていくのだと思います。

おもてなしは、うれしいもの。ほっとするもの。わくわくするもの。

こういった気持ちは、おもてなしを受けるほうだけでなく、おもてなしをするほうも抱くも

のです。

おもてなしの輪が広がって、町中におもてなしの心があふれたら…。

想像しただけでわくわくしてきます。

おもてなしの心、持ってみませんか。おもてなしの輪に入ってみませんか。素敵な未来と仲間たちが、あなたを待っていますよ。

特集 おもてなしの輪 終わり

「攻め」の観光振興に向け、ご支援、ご協力をお願いいたします



町長 公 前後

町民の皆さんには、各種イベントに多くのご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

お蔭様をもちまして、東京電力福島第一原発事故による風評被害で激減した観光客も震災前の水準まで戻りつつあります。

現在は、「風評被害」というマイナスのイメージから脱却して、攻めの観光振興を行うべく、さまざまな事業を展開しているところです。

本町ではこれから本格的なスキーシーズンを迎え、来年2月には全国高等学校総合体育大会ス

スキー競技会、3月にはFISフリースタイルスキーワールドカップ福島猪苗代大会が開催されます。全国、世界各国から訪れる多くの選手、役員や報道関係者をはじめ、大勢の観客の皆さんを、町を挙げて、おもてなしの心でお迎えしたいと考えておりますので、あらためてご支援、ご協力のほどお願いいたします。

また、平成27年に開催する国内最大級の観光キャンペーン「ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC)」に先駆け、4～6月にプレDCの開催が予定されており、本町においても積極的に取り組んでまいります。たいと考えておりますので、重ねてご協力をお願い申し上げます。

自治功労者表彰式・合同表彰式感謝状伝達式

受賞おめでとうございます

25年度町自治功労者表彰式は11月3日、町役場で行われました。自治、教育、産業、民生の分野で公共の福祉や町政に功労のあった6人と寄付などをした善行者4人を表彰し、その功績をたたえました。

午前10時から挙行された表彰式には受賞者をはじめ町、町議会、関係機関・団体の来賓など約40人が出席しました。

前後公町長が「皆さんの多大なるご功績に対し、町民を代表して敬意と感謝を申し上げます。これからも町政発展のため、ご協力をお願いします」とあいさつをした後、功労者と善行者にそれぞれ表彰状が贈られました。

表彰に続いて、鈴木武喜町議会議長、小檜山善継県議員が祝辞を述べました。

受賞者を代表して浅井甚一郎さん（新町い）が「町発展のため、各自その任務を果たすべく誠心誠意努力する」と謝辞を述べました。

表彰された皆さんは次のとおりです（敬称略）。

◆功労者表彰

▽有害鳥獣駆除員としての功績
Ⅱ内海洋一▽猪苗代湖の自然環境保全活動の功績Ⅱ鬼多見賢▽区長としての功績Ⅱ瀧澤美幸▽統計調査員としての功績Ⅱ渡部利、戸田儀秋▽国民健康保険運営協議会委員としての功績Ⅱ浅井甚一郎

◆善行者表彰

町の公益のため多額の私財を寄付された功績
▽野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金Ⅱ佐久間啓、川崎和子▽教育振興事業協力の寄付金Ⅱ福島県スキー連盟▽町運動公園陸上競技場の名称石碑の寄贈Ⅱ五十嵐石材店

合同表彰式 感謝状伝達式

25年度合同表彰式感謝状伝達式は11月9日、学びいなどで開催され、各種コンクールの受賞者などに賞状、感謝状が贈られました。

表彰された皆さんは次のとおりです（敬称略）。

25年度「ごみ減量化・リサイクル推進ポスター」コンクール入選者

最優秀賞 渡部莉未（猪苗代）
優秀賞 諏訪光（猪苗代）、小
板橋夢斗（猪苗代）、大久保智
加（千里）
佳作 小板橋絢斗（猪苗代）、



標語コンクール中学生の部最優秀賞
小椋倭人さん（吾妻）

秦萌華（翁島）、渡部舜ノ介（翁島）、小野木渥馬（千里）、渡部翔（千里）、大坂憲裕（長瀬）、笠間優希（翁島）、湯澤あゆみ（千里）、大堀愛菜（吾妻）

25年度「健全な社会環境づくり運動」標語コンクール入選者

【小学生の部】

最優秀賞 小板橋琴巳（猪苗代）
優秀賞 遠藤好（翁島）、押田俊輔（猪苗代）、後藤玲央（猪苗代）
佳作 小檜山桃実（緑）、野口晴斗（翁島）、高橋留依（吾妻）
【中学生の部】
最優秀賞 小椋倭人（吾妻）
優秀賞 鈴木まどか（吾妻）、安部遙（東）、鈴木琢朗（東）、佳作 遠藤真桜（吾妻）、森田康哉（吾妻）、小檜山澪花（東）



ポスターコンクール最優秀賞
渡部莉未さん（猪苗代）



前後町長、鈴木議長を中心に受賞した皆さんで記念撮影

【高校生の部】

最優秀賞 渋谷徳之（猪苗代）
優秀賞 長崎真梨恵、湊翔弥、渡部美歩（すべて猪苗代）
佳作 佐藤達弥、宗像愛深、鈴木杏奈（すべて猪苗代）

【二般の部】

最優秀賞 大木美津子（打越）
優秀賞 佐藤淳子（上新町）、増井陽一（町内勤務）、古川真智子（樋ノ口）
佳作 穴澤房江（町内勤務）、小須田利子（小水沢）、目黒和恵（白津）

25年度 統計功労者感謝状受賞者

【福島県統計協会名誉会長表彰】
古川文義、小林敏子

25年度 日本赤十字社福島県支部長感謝状受賞者（敬称略）



福島県統計協会名誉会長表彰
古川文義さん

【銀杯感謝状】

有限会社吾妻食品、会機工業株式会社、医療法人ケアテル、社会福祉法人蘭山会特別養護老人ホーム咲楽の里

【個人の部】

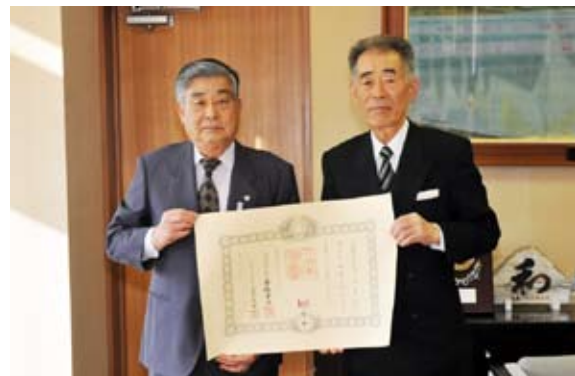
・一般募金 鈴木明、戸田忠義、野口森雄
・歳末たすけあい募金 渡部新司、遠藤修郎

【団体の部】

・一般募金 有限会社五十嵐自動車整備工場、猪苗代町老人クラブ連合会
・歳末たすけあい募金 あいづ農業協同組合青年連盟猪苗代地区・女性部猪苗代支部、有限会社三交産業、株式会社あいつダストセンター



福島県共同募金会長感謝状受賞
渡部新司さん



受章の報告に町役場を訪れた津金さん(右)

地方自治伸展の功績をたたえる

前町長の津金要雄さんに旭日小綬章

秋の叙勲で旭日小綬章を受章した前町長の津金要雄さんは11月5日、町役場を訪れ、前後公町長に報告しました。津金さんは町議会議員を3期9年間務めた後、町長を4期16年務めるなど、長きにわたって町政の発展に尽力し、地方自治の伸展に寄与した功績が認められたものです。津金さんは「私だけの力ではなく、皆さんの力添えがあったからこそ受章できた。町民の皆さんに感謝しています」と話しました。

町民の健康のため発展誓う

町食生活改善推進委員会が20周年記念式典

創立20周年を迎えた町食生活改善推進委員会は11月27日、町農村環境改善センターで記念式典を行い、これまでの歩みを振り返るとともに、さらなる発展を誓いました。式典では、全員で会歌を斉唱。星久子会長が「今後も地域住民の健康のため活動していきたい」とあいさつしました。会の運営に貢献した会員への表彰も行われ、星会長が表彰状を手渡しました。式典に続いて祝賀会が開かれ、会員らが食事を囲んで和やかに歓談しました。



祝賀会の様子。手作りのラズベリージュースで乾杯



新妻常務に請求書を手渡す前後町長

東京電力に約4200万円請求

福島第一原発事故による損害賠償として

町は11月28日、東京電力福島第一原発事故による損害賠償として約4200万円を東電に請求しました。請求の対象期間は24年4月から25年3月までで、主な内容は風評被害対策事業費約1900万円、24年度個人住民税減収分約670万円、入湯税減収分約570万円などです。前後町長が、町役場を訪れた東電の新妻常務に請求書を手渡しました。東電への損害賠償請求は昨年12月に請求した23年度分に次いで2度目です。

児童らが湖の環境保全呼び掛ける

学びいなか環境フォーラムを開催

「環境フォーラム2013 in いなわしろ」は11月15日、学びいなかで開かれました。全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施したもので、会津若松、郡山、猪苗代の3市町の児童が取り組んでいる環境保全活動などについて発表しました。本町からは翁島小の5年生がステージに上がり、猪苗代湖のクリーン作戦やアサザの移植、ヨシ刈りなどの活動内容を発表するとともに、美しい湖を取り戻すために協力と呼び掛けました。



真剣な表情で水質保全の大切さを訴える翁島小の児童たち

後輩たちに楽器と想いを託す

長瀬小マーチングバンド移杖式



長瀬小マーチングバンドの発表会・移杖式は11月22日、カメリーナで行われ、6年生が最後の演奏を披露し、後輩たちに楽器を託しました。

発表会では、バンドマスターの田母神幹太さん(6年)が「これまでお世話になった人たちのために演奏したい」とあいさつ。保護者や地域の人たちが見守る中、6年生は感謝の気持ちを込めて精一杯演奏・演技しました。

移杖式では、三瓶水葵さん(6年)が山口愛海さん(5年)に指揮杖を手渡し、ほかのメンバーも後輩たちに楽器を託しました。下級生を代表し新バンドマスターの青木里奈さん(5年)が「6年生の思いを下級生に必ず伝えていきます」と伝統を受け継ぎ、活躍することを誓いました。

写真上 息の合った演奏・演技を披露する児童

写真左下 会場には保護者や地域の人たちが大勢訪れ、6年生の最後の演奏を見守った

写真右下 6年生たちとの演奏もこれで最後。指揮杖を受け取り、思わず涙があふれる

優れた医学研究の功績たたえる

学びいなか野口英世医学賞授賞式

免疫学や細菌学の分野で優れた医学研究を顕彰する第56回野口英世博士記念医学賞の授賞式は11月9日、学びいなかで行われ、授賞した獣医学博士で大阪大微生物病研究所の松浦善治氏の功績をたたえました。野口英世記念会の八子弥寿男理事長が松浦氏に賞状を手渡しました。松浦氏の研究は「C型肝炎ウイルスの増殖と病原性発現に関与する宿主因子の解析」で、肝臓がんの進行を抑える新薬開発につながると期待されています。



八子理事長から表彰を受ける松浦氏(右)と裕子夫人(中央)

町内の絶品スイーツが大集合

猪苗代スイーツフェスタを初開催

第1回猪苗代スイーツフェスタは11月17日、レイクサイド磐光で開かれ、来場者が町内9店舗の絶品スイーツを堪能しました。会場には約30種類の和菓子や洋菓子、パンが並び、スイーツを選ぶ来場者でにぎわいました。子どもらと共に訪れた佐藤良秋さん(郡山市)は「いろいろなお菓子が食べられてうれしい。和菓子はとてもきれいで、食べるのがもったいないくらいだった。2回目、3回目も開催してほしい」と話していました。



絶品スイーツに舌鼓を打つ来場者



くす玉を割って盛大に竣工を祝いました

砂防整備工事の完了を祝う

24年前の台風被害による大倉川改修工事

24年前の台風災害を受けて改修していた大倉川の火山砂防事業竣工式は10月31日、中ノ沢体育館で行われ、工事の完了を祝うとともに、防災への誓いを新たにしました。大倉川は、平成元年8月の台風13号による豪雨で大倉川2号橋（現新大倉川橋）が流され、11人が死亡・行方不明になるなどしました。式には関係者約70人が出席。くす玉を割って完了を祝いました。終了後、新大倉川橋近くの慰霊碑で献花し、犠牲者を追悼しました。

冬に備え防火への誓い新た

県消防協会猪苗代支部が検閲

県消防協会猪苗代支部の秋季連合検閲は10月27日、猪苗代小学校で行われ、団員らが防火への誓いを新たにしました。猪苗代、磐梯両町の消防団員約500人とポンプ車8台が出勤。役場から猪苗代小まで行進した後、通常点検などを行いました。訓練後、検閲官の前後公町長が「火災の発生しやすい季節を迎えるため、予防消防をさらに徹底し、非常時に迅速かつ適切に対応できる体制を引き続き堅持してほしい」とあいさつを述べました。



町内を行進する団員ら



試合に参加した6年生たち

チームの垣根越えて親睦深める

スポ少ソフトボール部が特別引退試合

町内スポーツ少年団ソフトボールの「全猪苗代6年生特別引退試合ならびに5年生以下混合強化試合」は11月4日、猪苗代小グラウンドで行われました。この試合は、チームの垣根を越えて協力し合い、親睦を深めるとともに、6年生の技術を下級生に伝え、全体のレベルアップを図ることを目的に実施されたものです。5、6年生の交流試合や4年生以下の交流試合、6年生選抜と5年生以下選抜によるエキシビジョンマッチを繰り広げました。

町民が文化の秋に触れる

恒例の学びいな秋祭りを開催

学びいな秋まつりは11月2、3の両日、学びいなかで開かれ、多くの町民が文化の秋に触れました。学びいなかホールでは、町体験交流協会加盟団体のステージ発表に加え、青少年メッセージ2013の各部門で最優秀賞に選ばれた児童・生徒らの発表も行われました。館内の研修室では、町主催講座受講生の作品展示や高齢者作品展が行われ、温かみのある作品の数々が、見る人を和やかな気持ちにさせていました。



学びいなかホールでは多彩な演目が繰り広げられました



テレビ電話で五十嵐町長、小椋村長と協議する前後町長

万一の磐梯山噴火に備えて

磐梯山火山防災連絡会が訓練を実施

猪苗代、磐梯、北塩原の3町村で構成する磐梯山火山防災連絡会は11月12日、情報受伝達訓練を実施しました。訓練は、磐梯山で火山性微動を2度観測、噴火警報が発表されたとの想定で実施。福島地方気象台からの連絡を受けた担当者らが、各町村長に報告した後、前後公町長、五十嵐源一磐梯町長、小椋敏一北塩原村長の3人が、テレビ電話を使って現状報告や登山者、住民、観光客らの安全対策などを協議しました。

自衛官募集への協力に感謝

町に防衛大臣感謝状

町はこのほど、防衛大臣の感謝状を受けました。この感謝状は、長年にわたり自衛官の募集に積極的に協力した功績に対し贈られたものです。贈呈は10月26日、自衛隊記念日中央行事の一つで、防衛基盤の育成や隊員募集などに貢献した一般功労者・団体を表彰する平成25年度防衛大臣感謝状贈呈式において行われ、小野寺五典防衛大臣が前後町長に手渡しました。贈呈式では、企業、自治体など69団体と65個人に感謝状が贈られました。



小野寺防衛大臣から感謝状を受ける前後町長(左)



戸田会長から役員表彰を受ける滝澤幸市さん(右)

今後もますますのご活躍を

学びいなか町高齢者福祉大会を開催

第44回町高齢者福祉大会は10月25日、学びいなかで開催され、町内の老人クラブ会員ら約340人が出席しました。町老人クラブ連合会の戸田忠義会長が「活力を持って地域社会に貢献しよう」とあいさつした後、役員表彰と会員加入増強老人クラブ顕彰伝達、しあわせ金婚夫婦表彰が行われました。式典後は、各地区の老人クラブ会員らがアトラクションを披露し、歌や踊りなどで会場を盛り上げました。



活発な議論が交わされたパネルディスカッション



通学キャンプ～自分自身、再発見～が開催されました

国立磐梯青少年交流の家(小坂橋^{のぼる}所長)が主催する、25年度通学キャンプは「自分自身、再発見」をテーマに、11月10日から15日までの6日間、同所で開催されました。

小学校4年生から6年生までを対象とするこの事業は、集団生活や体験活動を通して、自立性やコミュニケーション能力など、子どもたちの社会

性を育成することを目的に毎年実施されているもので、今年は町内の全6校から合計63人の児童が参加し、交流を深めました。

本年度は初めて中学生がキャンプに参加。プログラムと夕食作りに加わり、小学生のリーダー役を務めました。

キャンプの様子を写真で紹介します。



1 慣れない手つきで頑張ります。自分で作ることで、毎日食事を作ってくれる家族の大切さを実感しました

2 中学生リーダーが大活躍だった今回のキャンプ。小学生からも大人気 **3** 手巻き寿司をガブリ。自分たちで作った夕食は格別 **4** 「ほかの学校の友だちがたくさんできてよかった」と話した、初参加の草野見佑さん(右、千里小6年)と中学生リーダーとして参加した高橋星那さん(東中2年)。高橋さんは「小学校のときに参加したとき、ボランティアの人たちがかってよかった。自分もプログラムを盛り上げたくて参加しました」と話していました **5** プログラム「コーディネーション運動」。今まで体験したことのない遊びや運動に子どもたちがいきいきと取り組みました **6** ボランティアが企画したレクリエーション「フルーツバスケット」の様子。最終日の前日に楽しい思い出がもう一つ加わりました



笑顔でこんにちは

Hello in the smile



パパとママ、お姉ちゃんの陽菜乃ちゃんと一緒に笑顔でチーズ

「誰にでも優しく、いつまでもありのままの自分でいてほしい」。優真くんの名前には、両親のそんな願いが込められています。

鈴木 優真^{ゆうま} くん

平成25年3月生まれ

～小田

大介さん・瑠美さん夫婦の長男

最近、伝い歩きができるようになった優真くん。とにかく立ちたくて仕方がなく、少しでも段差があると、ヨッコイショとつかまり立ちしています。ハイハイはもうお手のもの。自由に動き回り、何でも手に取って遊びます。「ニコニコ笑っているのに、いたずらしても怒るに怒れない」とママの瑠美さんは笑います。元氣いっぱい、のびのびと遊ぶ鈴木家。お姉ちゃんの陽菜乃ちゃんも優真くんのことが大好きで、おもちゃを持ってきてくれたり、おむつ替えを手伝ってくれたりするのだとか。パパの大介さんは大の釣り好き。「大きくなったら、一緒にバス釣りに行きたい。将来はバスプロになりたい」と夢を膨らませています。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(02)2111

スクールトピックス

School topics



猪苗代中が会津代表として堂々プレー 県中学校新人野球大会

強豪相手に互角の戦い
福島県中学校新人野球大会は10月20日、福島市の東邦銀行グラウンドで開かれ、猪苗代中学校野球部が会津地区代表として出場しました。
猪苗代中は、初戦で強豪郡山六中と対戦。初回に先制点を奪われる苦しい展開でしたが、3回に3点を奪い返し逆点、試合をひっくり返しました。最終回に追いつかれ同点となり、タイブレークに突入すると、延長8回相手に逆転を許し惜しくも敗れました。
長峰悠真主将は「目標だった県大会出場を成し遂げることができました。惜しくも負けてしまいました。大会で学んだ経験を活かし、これからの自分たちの野球をレベルアップしたいと思います。また県大会に挑戦し、さらに大きな大会へ勝ち進んでいきたいです」と抱負を語りました。

役場

年末年始の役場業務のスケジュール

町役場の業務は、12月28日（土）から新年1月5日（日）まで休みになります。
証明書などが必要な人は、早めに手続きをしてください。
また、水道の開閉栓はできませんので、使用開始（停止）予定のある人は、早めに手続きをしてください。

休業中でも婚姻届、死亡届や火葬場の予約などは受け付けます。

▼問い合わせ先

総務課 行政管理係
☎（62）2111
町民生活課 町民係
☎（62）2114
上下水道課 水道管理係
☎（62）5622

年末年始のごみ収集・尿くみ取り

▼ごみ収集

新年1月1日（水）から1月5日（日）までの5日間は実施しません。ごみリサイクルカレンダーで収集日を確認してください。

平成25年度 年末年始水道管修理担当割当表

担当月日	指定給水装置工事事業者	電話番号
25年12月28日	金子工業（株）	（64）2151
	佐光設備	（66）4196
	難波設備工業所	（62）2839
12月29日	渋谷建設（株）	（64）2425
	（有）会津燃料	（62）3229
	（有）猪苗代工務店	（62）4645
12月30日	大栄工業（有）	（64）2802
	（有）阿部伊三郎商店	（62）3626
	（有）渡部住宅設備機器	（66）2868
12月31日	本間建設	（65）2701
	中善商店	（66）2345
	伊藤配管工業	（62）3018
26年1月1日	宇南山設備	（65）2265
	小椋建設林業（株）	（64）3329
	（有）笠間設備工業	（62）2883
1月2日	（株）五十嵐建設工業	（62）3861
	鈴木設備	（62）3520
	小熊建設	（64）2508
1月3日	金子工業（株）	（64）2151
	佐光設備	（66）4196
	難波設備工業所	（62）2839
1月4日	渋谷建設（株）	（64）2425
	（有）会津燃料	（62）3229
	（有）猪苗代工務店	（62）4645
1月5日	大栄工業（有）	（64）2802
	（有）阿部伊三郎商店	（62）3626
	（有）渡部住宅設備機器	（66）2868

さい。

▼家庭生ごみ収集

12月31日（火）から新年1月5日（日）までの6日間は実施しません。家庭生ごみ回収カレンダーで収集日を確認してください。

▼尿くみ取り

12月28日（土）から新年1月5日（日）までの9日間は実施しません。休みに入る前に業者に依頼してください。依頼先は、ごみリサイクルカレンダーに掲載してありますので確認してください。

▼問い合わせ先

町民生活課 環境係
☎（62）2114

水道

水道管の凍結や破損を防ぎましょう

水道管の防寒対策はお済みですか。気温が0度以下になると、水道管などが凍結し水が出なくなったり、破損します。

▼水道管を凍らせないために

- ①水抜き栓で管内の水を抜く
- ②水道管に保温材や電熱ヒーターを巻く
- ③蛇口から適量の水を流しておくなどの方法があります。

▼凍って水が出ないとき

します。

▼展示期間・場所

12月16日（月）～27日（金）
役場北側駐車場
午前9時～午後4時（土・日・祝日を除く）

※町ホームページに車両詳細および写真を掲載しています。

▼問い合わせ期間

12月16日（月）～27日（金）
午前9時～午後4時（土・日・祝日を除く）

▼入札申し込み期間

12月16日（月）～27日（金）
午後4時まで
※FAX、郵送可
※入札への参加を希望する人は必ず申込書を提出してください。

※入札参加申込書と入札書の様式は上下水道課窓口および町ホームページにあります。

▼入札日時・場所

26年1月14日（火） 午前10時
役場3階 正庁A
※時間厳守・郵送不可

▼問い合わせ先

上下水道課 下水道係
☎（62）5633

▼公売車両
※入札に参加する場合は、必ず現車をご確認ください



公売

町有財産の公用車を公売します

町の公用車を公売します。車種および公売方法は次のとおりです。

▼公売車両

普通乗用車（トヨタ プリウス）
・平成12年式
・走行距離 132391^{キロ}
（11月20日現在）※12月11日まで使用するため、走行距離は変動します。

・仕様 ハイブリッド車
※町章・町名表示の削除・名義変更は購入者負担
※車検・自賠責保険ともに期限が切れています
※購入時点よりバッテリーなどの交換はしていません
※タイヤは冬タイヤを履き潰しています

内装・外装に年式に応じ損傷・さび・汚れがあります。公売に参加する場合は必ず現車をご確認ください。

▼公売方法

現車を展示し、その後入札により最高入札額者と売買契約を締結し、代金入金確認後に受け渡し。なお、入札金額は税別と

相談

行政相談委員に 相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。

▼行政相談委員

宮澤重正さん(下館)

☎(66)3995

佐藤明さん(会津若松市)

☎(29)6633

(会津社会労働保険協会)

▼開催日時 12月18日(水)、

1月15日(水)

午後1時～午後3時

▼場所 町役場3階 日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報係

☎(62)2111

募集

三町村統一「合宿の郷」 名称(ネーミング)募集

北塩原村・磐梯町・猪苗代町の三町村では、震災後の風評被害により合宿の利用者が低迷し

ていることから「会津磐梯山・猪苗代湖合宿の郷を創る協議会」を設立しました。

三町村は、自然環境に優れ、宿泊施設が充実した「合宿の郷」としての名称を募集し、採用された名称を基に広くPRを行いスポーツ、文化活動の場として交流人口の増加を図り地域の活性化につなげます。

▼応募方法

広報猪苗代12月号に折り込みの募集チラシに記入の上、町役場建設課までご持参ください。また、募集チラシに記載の協議会ホームページからの応募も可能です。

▼問い合わせ先

建設課 都市整備係

☎(62)2118

幼稚園教諭・保育士の 嘱託員を募集します

町では、町内幼稚園・保育所の嘱託教諭および保育士を次のとおり募集します。

▼募集人員

幼稚園教諭・保育士 若干名

▼雇用予定期間

雇用決定日から平成26年3月31日(月)まで

(※平成26年4月からの雇用については、再申請となります。)

▼採用条件

住民基本台帳の 写しの閲覧状況

住民基本台帳法第11条第3項および第11条の2第12項に基づき、住民基本台帳の一部の写しの閲覧状況についてお知らせします(24年11月から25年10月までの1年間)。

◆国または地方公共団体の機関からの請求によるもの(法第11条)

閲覧日	機関の名称	請求事由の概要	閲覧に係る住民の範囲
24年 11月7、8日	自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所長 佐野芳則	自衛官の募集に伴う広報のため	平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれの男女 平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの男子

◆個人または法人の申し出によるもの(法第11条の2)

閲覧日	申出者の氏名 (法人の場合はその名称および代表者氏名)	利用目的の概要	閲覧に係る住民の範囲
24年 11月12、13日	株式会社サーベイリサーチセンター 代表取締役 藤澤士朗(共同申出者 株式会社インテグリサーチ)	家計消費状況調査	猪苗代地区、千里地区、長瀬地区の16歳以上の男女
24年 11月14日	一般社団法人中央調査社 会長 西澤豊	国民性に関する意識動向 (2012年度)調査	大字千代田、大字磐里の20歳以上79歳以下の男女
25年 5月8日	株式会社サーベイリサーチセンター 代表取締役 藤澤士朗(共同申出者 株式会社インテグリサーチ)	家計消費状況調査	猪苗代地区の16歳以上の男女
25年 5月15日	一般社団法人中央調査社 会長 西澤豊	国民生活に関する世論調査	字南半坂、字北半坂、字新地、字中町、字土町南の20歳以上の男女
25年 5月22日	一般社団法人中央調査社 会長 西澤豊	テレビ視聴に関する調査	字新町、字本町の16歳以上の男女
25年 6月4日	株式会社日本リサーチセンター 代表取締役社長 鈴木稲博	4～9歳・10代のスポーツ ライフに関する調査	大字長田、大字三ツ和、大字磐根、大字翁沢の4歳以上19歳以下の男女
25年 6月19日	一般社団法人中央調査社 会長 西澤豊	第6回メディアに関する全国世論調査	字井才天西、字中町、字堤の18歳以上の男女

▼回答方法

「広報猪苗代」で回答します。

▼記載について

・記名 無記名は問いません。
・ご意見箱に用紙を備え付けてありますので、ご利用ください。
・郵便やファクシミリのご意見、ご提言もお待ちしております。

《記載にあたってのお願い》

・内容の趣旨がわからない、事実の確認ができないなどの理由で回答できない場合がありますので、ご意見は趣旨がわかるように、具体的に記入いただくようお願いします。

・他人を誹謗中傷するもの、営業、宗教、政治活動などに関するものはご遠慮ください。

▼問い合わせ・ご意見の送付先

総務課 秘書広報係

☎(62)2111

FAX(62)5175



掲示板

告示

・第102号「債権差押書の公示送達について」

(税務課収納係)

・第103号「国民健康保険被保険者証無効告示」

(町民生活課国保年金係)

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成25年10月31日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別		増 減	増減率%
	平成25年	平成24年		
猪 苗 代 町	48	66	-18	-27.3
磐 梯 町	16	15	1	6.7
裏 磐 梯	11	9	2	22.2
計	75	90	-15	-16.7

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
			25年	24年	25年	24年	25年	24年
窃盗犯計			36	44	15	8	10	7
空き巣			1		1			
金庫破り								
事務所荒らし			1	1				
出店荒らし				2	1			
倉庫荒らし			1	1				
侵入盗その他			3	3				
置き引き			3	6			2	
車上ねらい			3	5	1	1	1	2
部品ねらい								1
脱衣場ねらい							1	1
自販機ねらい								
万引き			6	4				
職場ねらい						1	1	
さい銭盗				4				
畑荒らし								
スキー・スノーボード盗			6	2	11	2	3	2
非侵入盗その他			10	7	2	3	2	1
自動車盗				1				
オートバイ盗								
自転車盗			2	8				
その他の乗り物盗								
暴行・傷害			3			2		1
詐欺・横領			2	3	1			1
遺失物等横領			1	1		2		
器物損壊			5	15		2	1	
その他の刑法犯			1	3		1		
総 計			48	66	16	15	11	9
増 減				-18		1		2

◎家族や警察官などを装いお金をだまし取る「なりすまし詐欺」が増えています。話の中で、お金の手渡し・振り込みの指示があったときは、すぐに家族、知人が警察(110番)に相談してください。

2 交通事故状況

	死亡事故		増 減		人身事故		増 減	
	1	2	0	0	0	0	0	0
増 減		-1		0		0		0
人身事故	59	86	14	12	4	7		
増 減		-27		2		-3		

◎路面凍結によるスリップ事故が多発しています。ドライバーの方は速度を控え、安全運転に心掛けましょう。歩行者・自転車の方は、夜間は反射材を着用し、周囲の車の動きに注意しましょう。

スノーシーズン「無事故のおもてなし」

いよいよ12月に入り、本格的な雪のシーズンとなりました。スタッドレスタイヤへの履き替えはお済みですか？毎年、冬になるとスリップによる交通事故が多数発生します。スキーのメッカである本町には、毎年、県内外から多くのスキー客が訪れます。十分な車間距離と早めの減速で、雪道の先輩ドライバーとして模範となるような運転を心掛け、本町を訪れる皆さんを無事故でおもてなししましょう！！

光ります ルールとマナーと 反射材

～年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動実施中～

- 夜道の外出は反射材などを身につけましょう
- 飲酒運転は絶対してはいけません
- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用

～猪苗代町交通対策協議会～

クリスマス献血を実施します

12月25日(水) 午前9時30分～午後5時

町役場正面玄関前で全血献血を実施します。冬場は風邪をひいて体調を崩したりする人が多く、血液が不足しがちです。400ミリリットル献血へのご協力をお願いします。

クリスマスならではの特別なプレゼントを用意して、皆さんの来場をお待ちしています。



保健福祉課 健康づくり係 ☎62-2115

毎週火曜日、午後7時まで
窓口業務の時間を延長しています

町では、町民の皆さんの利便性向上を図るため、毎週火曜日、午後7時まで住民票・税証明発行などの窓口業務の時間を延長しています。

☎総務課 行政管理係 ☎(62) 2111

編集後記

今年のふくしま駅伝は、他町村の広報担当者の協力もあって、走った選手全員の写真を載せることができました。紙面を借りて感謝します。ありがとうございます。▼時には回り道もいものです。タスキリレーの写真撮影のため、駐車し中継所に向かう途中で、かなり距離があることに気がきました。何とかタスキ渡しの間に合うようにと、中継所に向かって走っていると、金子先生を応援に来ていた緑小の児童を発見。写真に収めることができました。(矢森)

防 犯

不審な電話に要注意！
なりすまし詐欺かも

国税局や税務署の職員を名乗る者から電話があり、アンケートや年金受給調査と称して、年齢や家族構成、年金の受給状況、預金残高、口座情報などについて聞き出そうとする事例が発生しています。

※不審な電話があった場合には、即答を避け、①相手の所属部署、②氏名、③電話番号を確認した上でいったん電話を切り、最寄りの税務署にお問い合わせください。

☎会津若松税務署 ☎(27) 4311

消 防

冬季間の消火栓などの
除雪にご協力ください

消防署・消防団は火災発生時に消火栓・防火水槽を使用し消火活動します。自宅の周囲に消火栓などがあれば除雪をお願いします。また、消火栓・防火水槽の周りには雪を捨てないでください。ご協力をお願いします。

☎猪苗代消防署 ☎(62) 4433

申 告

会津ロイヤルプラザに
申告書作成会場を開設

税務署では、所得税、個人事業者の消費税および贈与税の確定申告書を作成するための会場を開設します。

●開催日時 2月3日(月)～3月17日(月) 午前9時～午後4時(土・日・祝日を除く)

●開催場所 会津若松市中町3-53(野口英世青春通り)

会津ロイヤルプラザ 2階
※例年、3月に入ると大変混み合いますので、早めにご来場ください。作成会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。税務署内には申告書を作成する会場はありません。

☎会津若松税務署 ☎(27) 4311

研 修 会

県がおもてなし研修会
を開催します

県では、平成27年「ふくしまステーションキャンペーン」の開催に向けて、おもてなしでお客様をお迎えするため、「おもてなし研修会」を開催します。参加料は無料です。ふるってご参加ください。※事前申し込みが必要です。

【観光・一般事業者向け講座】

●日時 26年1月23日(木)

〈午前の部〉

午前9時15分～午後0時45分

〈午後の部〉

午後1時30分～午後5時

【旅館・ホテル向け講座】

●日時 26年1月24日(金)

午前9時15分～午後0時45分

【交通事業者向け講座】

●日時 26年1月24日(金)

午後1時30分～午後5時

※会場はいずれも会津アビオ展示ホールです

☎リョケン ☎0557(83) 2120

善意をありがとうございます

○社会福祉事業協力金として
佐藤ケイ子さん(蜂屋敷) 50,000円

○野口英世博士の里ふるさと猪苗代応援寄付金として
長島公秀さん(千葉県) 30,000円

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

町の人口

25年11月1日現在の現住人口

人 口 15,188 人
世帯数 5,059 戸

出生 8 人 転入 25 人
死亡 30 人 転出 34 人

今月の納期

(納期限12月25日)

- 固定資産税 3期分
- 国民健康保険税 6期分
- 介護保険料 6期分
- 後期高齢者医療保険料 5期分
- 上下水道使用料 12月分
- 下水道受益者負担金 4期分

みんなの美術館

12月は翁島小学校のお友達作品です

Our Museum



渡部 舜ノ介さん(4年)

「ワニガメ大出産」

貝のきれいな色が気に入っています。「明るい色のほうがいいよ」と友だちが言ってくれて、それがよかったです。甲羅の模様が細かくて難しかったけど、上手にできました。



「花畑と犬と猫」

適当に切った色紙を組み合わせて作りました。「これはリボンに見えるね」などと友だちと話をしながら、色紙を貼り付けました。リボンを付けたかわいい犬がお気に入りです。



釣巻 優紀さん(1年)

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No. 198

かずのこ入りなます (メタボ予防メニュー)



【材料】4人分

大根 5匁・人参 1/4本・かずのこ 20匁・A {砂糖 大さじ1・酢 大さじ1}

【作り方】

- ①大根と人参は千切りにし、かずのこは食べやすい大きさに切る。
- ②Aを入れたボウルに大根と人参を加え味がなじんだら、かずのこを加えて混ぜ合わせ、器に盛って出来上がり。

【一人当たりの栄養量】

エネルギー 29kcal、塩分 0.2g

■一口メモ■

大根や人参などの根菜類は食物繊維が多く含まれます。よく噛むことで満足感が得られ、食べ過ぎの予防につながります。